

「愛着と誇り、人とまちが共に輝く『みらい創生のまち。』の実現に向けて

# 令和8年度予算の概要

## 令和8年度予算

一般会計	116億600万円 [前年度比+0.7%]
特別会計	38億5,490万円 [前年度比+1.6%]
下水道事業会計	17億5,843万円 [前年度比▲4.0%]

令和8年度当初予算は、町長選挙を踏まえ、継続事業および義務的経費を中心に編成した「骨格予算」としました。新規事業や政策的経費については「肉付予算」として、その後の補正予算により対応することとしています。

予算編成にあたっては、将来の「町のありたい姿」の実現をめざし、未来志向のまちづくりを加速させる必要があります。そのため、総合計画の柱である「第3期愛宕町みらい創生戦略」に基づき、「ひとづくり」「しごとづくり」「まちづくり」の3つの重点プロジェクトに対し、継続的かつ重点的な予算配分を行いました。

あわせて、福祉や教育、くらしの安全、そして防災・減災など、皆様の生活に不可欠なサービスを安定して提供できるよう予算を配分しています。さらには、住民サービスの向上につながるデジタル化を推進するとともに、公共施設の最適配置や、道路や公共施設の老朽化対策にも取り組みます。

これらにより、未来志向のまちづくりの着実な推進と、基礎的な行政サービスの確保・充実の両立を図り、町のさらなる成長につながる施策を展開します。



歳入

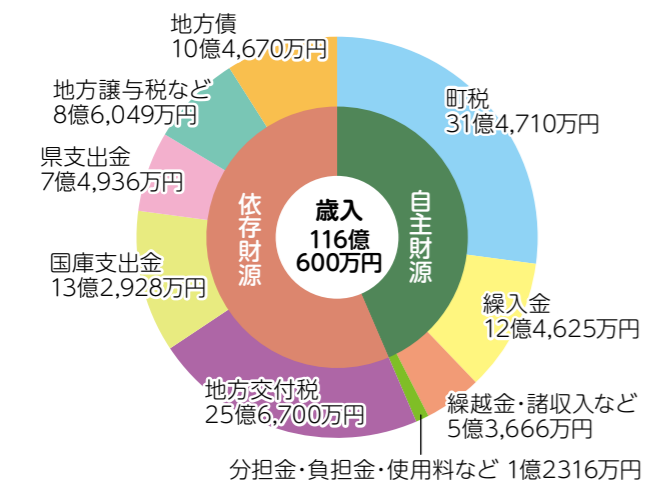
町に入ってくるお金（歳入）は、大きく2つの種類に分けられます。一つは、町税など町が自ら確保し、地域のニーズに合わせて自由に使い道を決めることができる『自主財源』。もう一つは、国や県からの補助金や交付金など、使い道が定められている『依存財源』です。これら性質の異なる財源をバランスよく活用し、健全な行財政運営に努めています。

### ●歳入について

分担金・負担金・使用料などについては、町境に位置する新川久保橋（給食センター近く）の修繕工事を豊郷町と共同で実施することに伴う豊郷町からの負担金などを含め、前年度比1,744万円増の1億2,316万円を計上しました。

繰越金・諸収入などは、近年の「ふるさと納税」の実績を踏まえ、さらなる増額を見込むなどにより、前年度比1億3,680万円増の5億3,666万円としています。

町の借入金にあたる地方債は、2か年計画のハーティーセンター秦荘の長寿命化改修事業が、本格的な工事期間を迎えたことなどにより、前年度比4,180万円増の10億4,670万円を計上しました。



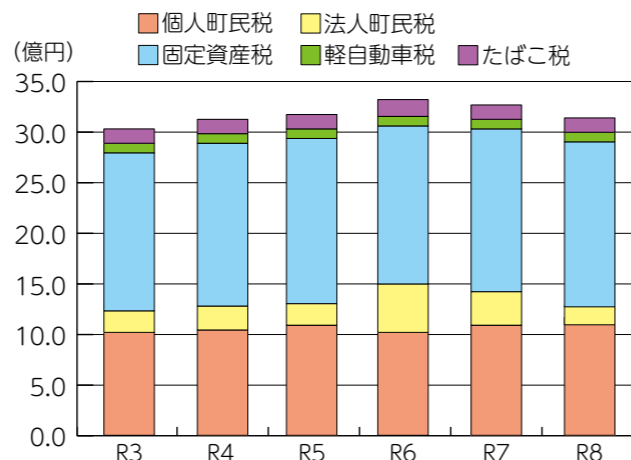
※端数処理により歳入合計と異なる場合があります。

### ●町税収入の推移

歳入の根幹となる町税全体では、前年度比1億1,722万円減の31億4,710万円を見込んでいます。

主な内訳として、個人町民税は3,905万円増の11億1,483万円、固定資産税は土地・家屋・償却資産を合わせて2,326万円増の16億921万円と、それぞれ増加を見込んでいます。

一方で、法人町民税は企業の業績動向等を反映し、1億6,368万円減の1億9,068万円を見込むほか、軽自動車税は501万円減の9,347万円、町たばこ税は1,084万円減の1億3,891万円となる見通しです。



(注) R3 から R6 までは決算額、R7 と R8 は当初予算額

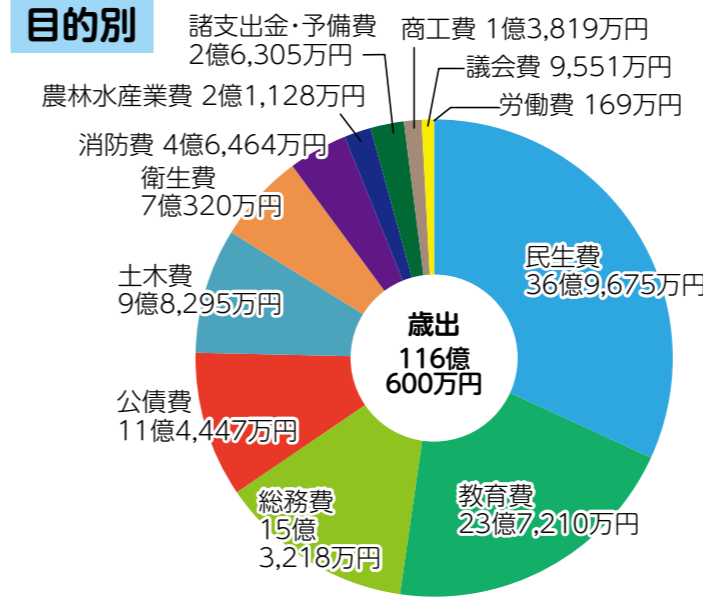


歳出

町の予算がどのように使われるのか、その全体像を2つの視点からご説明します。一つは、福祉や教育、道路の整備など、どのような行政分野に予算を充てるかという「目的別」の視点です。これにより、皆様のくらしに関わる各分野の行政サービスに、どれだけの予算が充てられているかを確認することができます。

もう一つは、人件費や工事費、扶助費など、どのような性質の費用として支出するかという「性質別」の視点です。こちらは、いわば家計における「食費」や「光熱費」のように、費用の種類ごとに予算の構成を捉えるものです。

### 目的別



### ●目的別に見た歳出について

議会費は、議員定数が14名から12名に減じられたことに伴い、議員報酬などの経費が減少し、前年度比999万円減の9,551万円を計上しました。

教育費は、国民スポーツ大会開催のための負担金などは減少しましたが、ハーティーセンター秦荘、図書館、給食センター厨房機器などの「教育関連施設環境改善事業」、小学校の40分授業午前5時間制導入にかかる「柔軟な教育課程創造事業」や、学校図書指導員の配置などを行う「まちじゅう読書活動推進事業」により、前年度比9,411万円増の23億7,210万円を計上しました。

総務費は、参議院議員通常選挙や町長・町議会議員選挙、町制20周年記念事業などの臨時的な事業が完了した一方で、「ふるさと納税」事業の拡充や「地域おこし協力隊」事業の継続的な実施により、前年度比789万円増の15億3,218万円となりました。

### ●性質別で見た歳出について

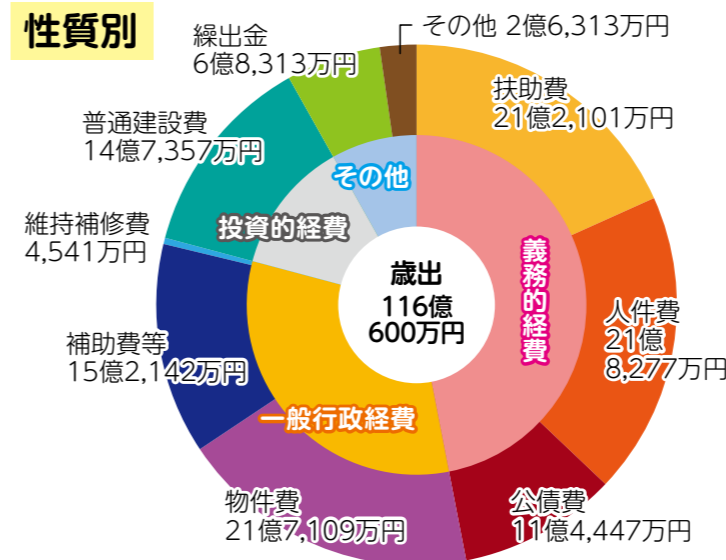
●性質別で見た歳出について

人件費は、人事院勧告に基づく給与水準の引き上げや地域手当の改定、職員数の増加などに伴い、前年度比8,072万円増の21億8,277万円となりました。

補助費等（一部事務組合への負担金など）は、これまでに引き続き、自治会や関係団体への補助事業に要する予算を計上した一方、国民スポーツ大会の終了やごみ処理施設の修繕完了に伴う分担金の減少により、前年度比2億275万円減の15億2,142万円としています。

道路や施設の整備に充てる普通建設費は、ハーティーセンター秦荘の長寿命化改修や山川原グラウンドの土入替え工事などを進める一方、両図書館のLED化・長寿命化改修工事の主要部分の完了、旧中山道にある歌詰橋（豊郷町境）の工事が完了したことによる減少もあり、前年度と同規模の14億7,357万円（前年度比190万円増）となりました。

### 性質別



※端数処理により歳出合計と異なる場合があります。